

かわさき区の宝物シート

宝物No.	とくせんじ 徳泉寺		
5-3			
エリア	中央地区	シーズン	通年
	旭港	日時	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物		



所在地	川崎区旭町1-14-13
問い合わせ	徳泉寺
TEL	044-222-2921
FAX	044-222-2908
E-mail	tokusenji@sunny.ocn.ne.jp
URL	
交通	京急大師線港町駅よりすぐ



基礎情報

■浄土真宗の寺。正式名称は真宗大谷派羽田山徳泉寺。開山は不詳。本尊は阿弥陀如来で、戦時中住職が本尊だけを肌身離さずにいたことから、唯一戦禍をまぬがれたご尊体であるという。
 ■境内には初代川崎市長石井泰助氏の墓石や、明治時代の六郷川の洪水時、救助活動中に殉職した巡査と天然痘の発生にともない殉職した巡査の二人の警官の供養碑が並んで建っている。

由来・エピソード

■かつては多摩川対岸の羽田にあったが、寛永4年(1627)の多摩川の洪水で水没し、川崎宿の江戸口近くに移ったと伝えられる。江戸時代には東海道に面した場所にあったため、門前はたいへんな賑わいがあったといわれる。大正13年(1924)に旧六郷橋の架橋工事のため現在の地に移転したとされるが、一説には酒豪で豪放磊落な当時の住職が借金を重ねた末、土地を手放さざるをえなくなり、一帯の大地主であった石井家の好意によって現在の場所の寄進を受けたという逸話も残っている。
 ■明治11年(1878)9月の多摩川の洪水時、住民の救助活動中に命を落とした福田傳四郎巡査、また明治15年(1882)6月の伝染病(天然痘)の発生時、患者救済の活動中に殉職した安井格禪巡査の2基の供養碑が本堂前に建てられている。
 ■石井泰助氏は明治30年(1897)に就任した川崎町長時代、多摩川の沿岸に横浜製糖(後の明治製糖、現・大日本明治製糖)、東京電気(現・東芝)、味の素などの工場招致に力を注ぎ、また川崎に初めて上水道を敷設するなど今日の川崎市の基盤を造り上げた功労者である。大正13年(1924)に川崎町・大師町・御幸村が合併して誕生した川崎市の初代市長となった。稲毛公園には功績を称える顕彰碑が建てられている。

補足・その他

関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-2)六郷橋駅跡
- (14-1)多摩川(河口干潟・桜並木)